

会報

★ 広島県高P連

発行所

広島市中区八丁堀11番28号
朝日広告ビル4F
広島県高等学校
PTA連合会
電話(082)223-3347
FAX(082)223-3351
HP hiroshima-koup.sakura.ne.jp

NO. 169

県高P連 進路対策委員会について

本年度進路対策委員長を務めさせて
いただいております、広島市立美鈴が
丘高校PTA会長の前坂聡と申します。
昨年度末からの新型コロナウィルス
のため生徒たちの貴重な高校生活にも
大きな影響を与えてしまっており、同
じようにPTA活動も多くを制限され
恒例行事も中止にせざるを得ない状態
が続いています。

進路対策委員会も毎年行われている
県高P連進路説明会が早々に中止が決
まり本年は何をすべきか、高P連会長
副会長をはじめ委員全員で会議を行
いました。様々な意見が出る中でやは
りこういう時だからこそ、子供たちや保
護者は進路においてどのようにならな
かという状況に悩まれているのでは
ないかと考えました。
今後の大学入試の方向性(その先は
社会の求める人物像)をイメージす
る手助けになればと考え今回学校法人
河合塾校舎長 高木里佳様に執筆の依
頼をお願いいたしました。先生には快
く引き受けてくださり感謝申し上げます。
この内容が生徒皆さんの未来の糧に
なれば幸いです。

(進路対策委員長 前坂 聡)

これからの大学入試について



学校法人 河合塾 広島校
校舎長 高木里佳

大学入試の現状

大学を取り巻く状況は近年大きく様
変わりしています。少子化に伴う受験
人口の減少によって「定員割れ」とな

なぜ変わる？改革の背景



将来予測の難しい社会へ 産業構造・就業構造も変化

変化する社会に対応できる資質・能力が必要

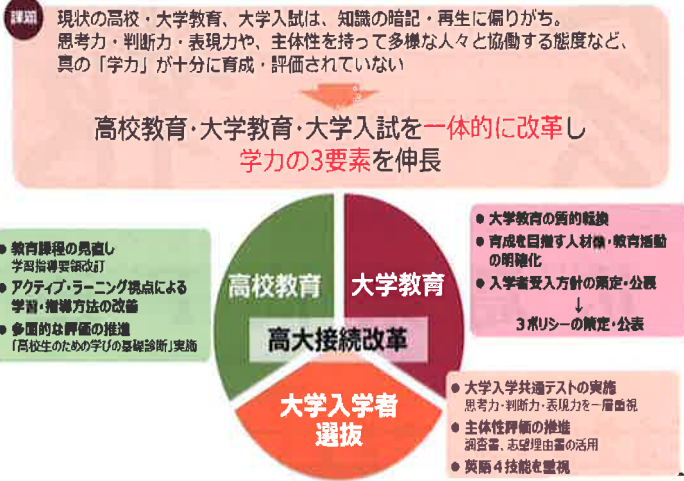
えがあります。変化する
社会に対応できる能力の
育成、評価ができるよう
高校教育、大学教育、大
学入試を三位一体で改革
しようと「高大接続改革」
に取り組んでいるのです。
大学入試については、
これまで以上に多面的・
総合的に能力を評価する
入試への転換があげられ
ました。
具体的には、学力の3
要素とよばれる「知識・
技能」「思考力・判断力
・表現力」「主体性を持
って多様な人々と協働し

変わる大学入試

現在、文部科学省は、高校教育、大
学教育そしてそれをつなぐ大学入試の
一体的な改革を進めています。その背
景には、先を見通すことが難しい現代
社会では、自ら問題を発見し、他者と
協力して解決していくための資質や能
力を育てる教育が急務であるという考
えがあります。変化する
社会に対応できる能力の
育成、評価ができるよう
高校教育、大学教育、大
学入試を三位一体で改革
しようと「高大接続改革」
に取り組んでいるのです。
大学入試については、
これまで以上に多面的・
総合的に能力を評価する
入試への転換があげられ
ました。
具体的には、学力の3
要素とよばれる「知識・
技能」「思考力・判断力
・表現力」「主体性を持
って多様な人々と協働し

て学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）をバランスよく評価することが求められています。

なぜ変わる？改革の背景



その一環としてこれまでの大学入試センター試験に代わる新しいテストの導入、大学個別入試のルール見直し、英語四技能（読む・聞く・書く・話す）評価の推進という三点が進められています。

このうち二〇二〇年度に行われる入試（二〇二一年度入試）から実施される新しいテストが「大学入学共通テスト」（以下、共通テスト）です。共通テストはセンター試験と同様の実施時

期、出題教科・科目で実施されます。共通テストは、「知識・技能」だけでなく、大学入学段階で求められる「思考力・判断力・表現力」を一層重視するという考えがベースにあります。

大学入試改革の方向性



導入が予定されていた記述式問題は見送られました。作問の方向性や出題の形式は見直しが進められています。問題作成の基本的な考え方として「知識の理解の質を問う問題や、思考力・判断力、表現力を発揮して解くことが求められる問題を重視する」としてい

ます。問題の場面設定については、学習過程を意識した場面設定を重視するほか、高校で身に着けた知識の理解や思考力が新たな場面で発揮できるかを問うため、資料等では教科書で扱っていないものも扱う場合があるとしています。

各大学が個別で課す試験についても、より多面的な選抜方法を行うことが求められています。教科試験が中心だった一般入試では、主体性等を評価するため面接を導入したり、受験生自らが作成した志望理由書等を提出させたりする大学が増えています。一方、推薦・AO入試では、学力の3要素をバランスよく評価する小論文やプレゼンテーション、共通テストなどを通じて、学力を問う試験を必須化する方針が示されています。なお、大学個別入試のルール見直しに伴い、二〇二一年度入試から「一般入試」は「一般選抜」に、「AO入試」は「総合型

英語の資格・検定試験の活用

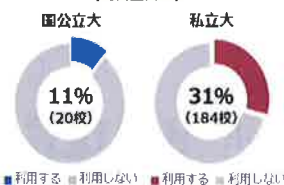
● 4技能評価の観点から

民間の資格・検定試験活用の動き

大学が個別試験でスピーキングやリスニングを実施することが難しいことから、民間の英語資格・検定試験活用の動きが広がる。



2020年度一般入試での活用状況（河合塾調べ）



また、グローバル化が急速に進展するなか、英語のコミュニケーション能力を重視する観点から、大学入試においても四技能を評価しようとする動きがみられます。これまでの大学入試ではリーディング（読む）が中心となっており、とくに各大学の個別試験では、リスニング（聞く）やスピーキング（話す）の試験を実施する

● さまざまな活用パターンが存在

民間の英語資格・検定試験の活用方法は大学によりさまざま。主な確認ポイントは3つ。

- 1. 成績の利用方法**
「出願資格として利用」「合否判定の一部（成績を得点化して利用など）として利用」「指定のスコア（級）等を保持していれば個別試験の受験を免除」など多岐にわたる。
- 2. 利用可能な資格・検定試験の種類、受験時期**
利用可能な「資格・検定試験の種類」「試験の受験時期」は大学により異なる。
- 3. 資格・検定試験の成績は必須or任意？**
得点化して利用する場合、成績が必須の場合と、任意の場合がある。

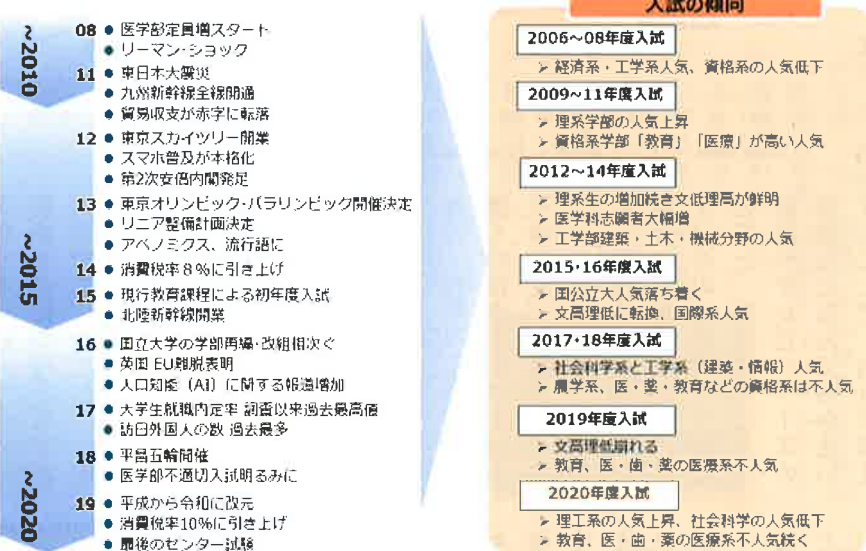
大学は限られています。そこで、すでに四技能評価を行っている民間の英語の資格・検定を活用する方向性が示されました。これを受けて、近年、出願資格や合否判定に資格・検定試験の結果を用いる大学が増加しています。二〇二〇年度の調査では、国公立大学の約三割、私立大学の約三割が一般選抜で英語の資格試験の成績を点数化して利用する大学が、国公立大学・私立大学ともに最も多く、また国公立大学では利用大学の約四割が出願要件としても利用しています。

入試動向は社会情勢に左右

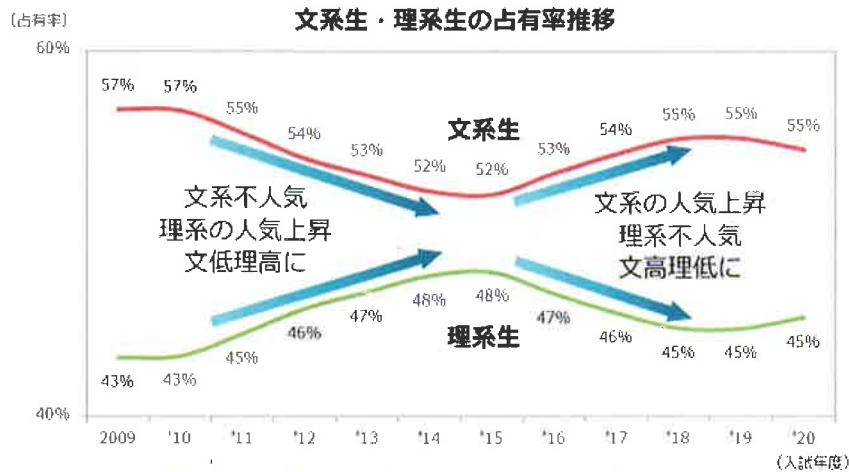
ここ数年の入試動向に触れておきます。国公立大ではリーマンショック後の不況の時期、学費が安いこともあって志望者が増加しました。それ以降、安定した人気を示していましたが、二〇二〇年度入試では受験人口の減少とセンター試験の平均点ダウンの影響から志望者数が大幅に減少しました。入試の中心となる前期日程では過去最低の志願倍率（三・〇倍）となりました。私立大も同様に志願者の

減少が目立ちました。二〇二〇年度入試は、翌年に新入試への移行をひかえていたことや、入学定員超過の是正を背景とした近年の私立大難化の影響から、受験生の安全志向が際立つ入試になりしました。前年倍率が高かった大学を敬遠する動きや志望者の入試難易度を下げて受験する動きが目立ちました。学部系統別の動向は以下の通りです。

学部系統の人気の変化 社会的背景が大きく影響



系統人気の推移 系統人気は変化する



- 2015年度を境に理系人気から文系人気に転換
- 2020年度は理系生の比率上昇 再び変わり目に差しかかる？

※両軸とも「センターリサーチ」より、文系理系生のマークによる（マークがない場合は各資料にて参照）

河合塾の調査では、早く志望大学が決まっている人のほうが、第一志望大学に合格しているケースが多いです。

明確な目標を持つことで、モチベーションを保ちながら、効率的に学習を進めることができます。

志望校の選択で肝要なのは、「大学で何を学びたいのか」を決め、「その学問はどの大学で学べるのか」を調べることです。学部名が同じでも、学べる内容やカリキュラムは大学によって様々です。

大学生の就職状況が良くなかったころには、資格に直結する学部や就職に強そうな理系の学部へ人気がありました。その後、大学生の就職が好調なこともあり文系学部の人気が上昇しました。ここ数年はAIやIoTなどの発展を背景に情報系の学部の人気が高まりをみせています。入試動向はその時々々の社会情勢、特に経済状況や就職率

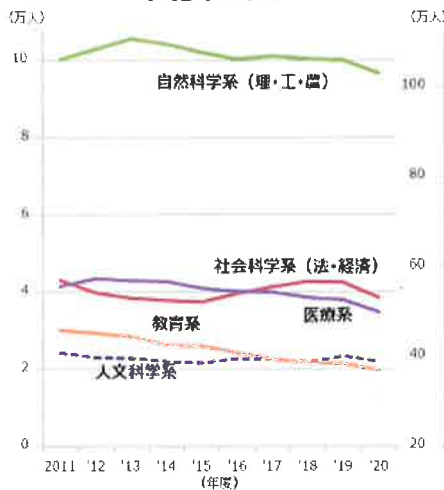
などの影響を強く受けています。また、個々の大学の志望動向は大学の入試方式や科目の変更によっても大きく変化します。大学入試は複雑化・多様化していますので、情報収集は重要です。

変わる入試に向けて やるべきポイント

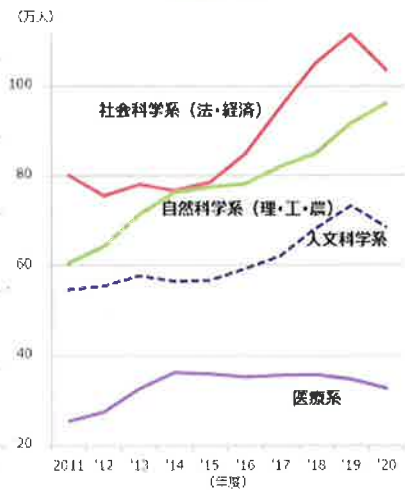
① **志望学部・大学を明確にする**

学部系統別志願者数の推移

国公立大



私立大



※国公立大は入学定員数、私立大は入学定員数に換算した数値を示す。

のではなく、学部の内容や特徴など、希望する条件と合致するか、よく検討することが大切です。

② **大学入試の情報を収集する**
 これまでの入試に関する情報やデータは多くありますが、二〇二一年度以降の新入試に関する情報は段階的に発表されています。アンテナを張って情報を収集しましょう。

③ **「学力の三要素」を伸ばす**
 入試は徐々に変化しており、入試を

まねん。話をすることで、自分の考えをまとめ、人に伝わる表現にする力に身につきま。人の話を聞くことで、話を理解する力、趣旨を読み取る力も鍛えることができます。

受験、進学という人生の大きな選択に際し、ぜひお子様と大いに対話し親子のきずなを深めていただければと思います。



突破するには、学力の三要素を身につけることが大切です。ただし、一定の養成期間が必要なため、まずは「思考力・判断力・表現力」の部分を意識して、受験勉強をスタートさせましょう。

この学力の三要素を伸ばすために、ご家庭でできることもあります。「思考力・判断力・表現力」を磨くのは座学だけではありません。ご家庭でのコミュニケーションも大事な「表現力・判断力・思考力」を磨く場となります。その日の学校でのできごと、部活動のこと、新聞やテレビニュースの話題などなんでもかまいません。話をすることで、自分の考えをまとめ、人に伝わる表現にする力に身につきま。人の話を聞くことで、話を理解する力、趣旨を読み取る力も鍛えることができます。

県高P連各地区連合会 活動報告

広島県高P連は、県内八地区に分かれ、それぞれ地区連合会長(校)を中心に、地区でのPTA活動(研修会など)を行っています。

令和二年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のために、単位PTAはもちろん、地区連合会でのPTA活動もままならない状況でした。しかしこれまで築き上げたPTA活動を継続するために、可能な範囲の活動を、感染防止を徹底して、研修会などを行った地区もありました。

各地区連合会のPTA活動を、今年できなかったが今まで行ってきたことや、できる範囲での活動を行えたことなど、各地区連合会へお願いし御紹介していただくことにいたしました。本号と次号に分けて掲載いたします。

【広島東地区連合会】

年度初めから新型コロナウイルス感染拡大によりなかなか学校に行くことも会議も開催することも出来ず、どうやって学校と連携をとるか悩ましい状態が続く中、感染拡大が少し落ち着いた八月に何とか第一回広島東地区会長会議を開催することが出来ました。

しかしながら、出てくる会議内容はやはり新型コロナウイルス感染拡大による各行事の中止や何かやろうにも今までどおりにできないという話題ばかりで暗い感じのまま終わりそうでした。そんな中、「明るく前向きになれるような話題を出して終わろう!」という声が上がりました。それから第二回も九月に行われましたが第一回の流れから皆さん前向きな発言が多かったように感じました。

私がPTAに関係し始めたころから広島東地区は「子供たちのために何が出来るか」「大人も一緒に楽しもう」と言われ続けていましたが今年のような異常事態では特に前を向くことの大切さを感じました。

そのような中、広島東地区の中でもよく取り上げられた事例を紹介したいと思います。

まず、安芸南高校ではクラスマッチの開催を全校一緒にやっていたものを学年ごとに日にちを分けて分散開催しPTAは生徒たちにコアパンとジュースを配布したそうです。

「生徒たちの笑顔に元気をもらった」という声もあつたようです。



海田高校ではWEB文化祭を開催し多くの方々に閲覧されたようです。学校のHPを利用してWEB文化祭のリンクを貼りYoutubeで写真や動画(部活動の作品など)を披露されていました。



PTAとしては役員が自分で企画・撮影・編集し動画をアップし、さらに「クスツと笑

える川柳く子供&学校編」と題した川柳を作り、閲覧された方に投票してもらえシステムでした。役員さんの感想の中には「理事会で一度しか顔を合わせてなかったけどLINEでやり取りする中で『笑』文字が打ち込まれたり拍手のスタンプが押されたりと、いつの間にかコミュニケーションが取れるようになっていた」とあったようです。

西条農業高校では創立一一〇周年記念式典と記念講演が工夫して行われました。



来賓者も少なくし、生徒たちも体育館での式典には三年生だけで一・二年生は各教室でオンラインによって行いました。

お迎えを担当する生活科の生徒もフェイスシールドを装着し消毒して、来校される来賓の方々にはすべて健康観察表の提出、消毒、検温、マスク着用を協力してもらいました。

河内高校では生徒会を中心に生徒達が主体となり地域の小中学生とともに「医療従事者に感謝をプロジェクト」を実施されました。

みんなで約一、二〇〇羽の青い鶴を折り貼り付けた作品を作り、生徒会長は広島FMの「九ジラジ」に電話出演し、この企画の趣旨・思いを電波に乗せて広めました。この他にも各校工夫をし「出来ないじゃなくどうやったら出来るか」を念頭に行事を行っています。



ただ中止にするのではなく次年度、さらにその先を見据えどうやって繋いでいくのかをみんなで考えて協力していきたいと思っています。

(広島東地区連合会長 古田健治)



【広島北地区連合会】

広島県広島北地区高等学校

PTA連合会活動状況について

広島県広島北地区の紹介

(例年の北地区での活動)

●五月の総会

●三回程度の会長会

●県PTA大会参加への手配

(開催場所にもよりますが、バス二台程度を手配)

●秋頃の研修大会

(講師をお招きして、広島市内のホテルにて講演と、講演内容に対するグループ協議。北地区内高校の紹介など)

●二回の会報発行

(一〇〇〇部)

令和二年度の活動は、他地区同様、年度始めの総会などの行事は自粛となりました。

そのような中、北地区連合会会長の山本やよい会長を中心とする、広島立広島中等教育学校PTAの皆さんが「北地区の研修会を行う流れを止めてはいけない」と言う思いのもと、秋の開催に向けて動いてくださりました。

講師の手配などはすでに昨年の十二月には決まっていたのですが、コロナ禍の影響により開催形式などを再考することになりました。

具体的にはホテルでの開催を断念し

て、担当講師との折衝の結果「ZOOMによる遠隔講演」が決定し、会長会での開催に向けての意思統一をへて無事開催されましたので、この紙面にて内容を報告させていただきます。



【令和二年度広島北地区高等学校 PTA連合会研修会】

日時 二〇二〇年十一月二十一日(土) 十時～

演題 「ネット社会を子どもたちの実態として何に気を付けなければならないのか？」

講師 佛科大学副学長・教育学部教授 原 清治 先生

今回のZOOM遠隔講演は、各校でZOOM設定などをしてもらい、条件の整わない学校は中等教育学校にて参加という形で開催されました。

講師の原先生は遠隔授業に慣れておられ、終始楽しい雰囲気のもと研修が行われました。

某民放バラエティー番組に出



演を誘われているようなのですが、納得させる内容でした。(ちなみに祖母の遺言で固辞されているそうです。)

講演は、

● ネット社会における子ども達の実態

紹介

● ネットいじめに関するデータ調査の紹介

● 現在のコロナ禍の下で、学校で起きている事の紹介

● この状況で、親に求められている事と、言う流れで行われました。

まず、このネット社会で我々も薄々感じている変化を言語化して認識させられます。

例えば、すでに一般にはリアルな友達より、ネット上での友達が重要である事や、現実のクラスでの相互無関心小グループの存在の紹介です。

他のデータからネットいじめの傾向の紹介をしてもいい、「静かな学級崩壊」という生徒同士の心理的分断の状況などは考えさせられました。

しかし、このコロナ禍の下で暗いデータばかりではなく、不登校の生徒が登校を始めるケースなど、現在の状況からの前向きな示唆があるそうです。

最後に、親の心構えとして、相手の意見を尊重して、さらに対等に自己を主張する能力を身に付けてほしいという内容で講演は終了しました。

(調査広報副委員長 大田 真)



【呉地区連合会】

(画面越しの花束贈呈)

皆さんこんにちは、呉地区高等学校PTA連合会です。私は、本年度会長を務めます、広高等学校PTA会長の上藤と申します。

よろしくお願いいたします。

今年度は新型コロナウイルスで始まり、そのまま一年が終わろうとしています。

終息の見通しのつかない暗いニュースの多い毎日ではありますが、学校や公園には子供たちの元気な声が響き、その笑顔に癒され、こちらまで自然と笑みが浮かび、元気をもらいます。

ほんといいものですね。

それでは、これより呉地区の御紹介をさせていただきます。

呉地区は、呉三津田高校、呉宮原高校、呉昭和高校、音戸高校、大柿高校、呉商業高校、呉工業高校、呉高校、呉特別支援学校、呉南特別支援学校、呉特別支援学校江能分級、武田高校、呉港高校、清水ヶ丘高校、呉青山高校、そして広高校の計十五校一分級が所属しています。あれ？ 呉ってこんなに公立高校あった？ えっ！もしかして私立高校も一緒なのと疑問を持たれた

方もいらつしやるかもしれません。そうですね、呉地区は、呉地域の高校に通う全ての高校生のため、公立立高等学校のPTAで構成されています。

広島県高等学校PTA連合会にある一地区としての活動は公立立高校のみですが、呉地区での活動は公私立立高校が垣根なく協働しているのです。

では、そんな特徴のある呉地区高等学校PTA連合会の主な活動である研修会と連絡協議会について簡単に御紹介いたします。

研修会は二年前より学校視察を実施しています。



業を見学しました。

昨年は呉宮原高校で昼食に対する各校PTAの取り組みを報告しあった後、実際に食堂で昼食を取り、生徒の談笑しながらの食事風景を見てきました。

今後学校視察を継続し、呉地区だけでなく近隣の学校への視察も視野に入れていきます。

次に連絡協議会では、映画の上映や講演、そして、近年、会場としてお借りしている広島国際大学の保護者向け

学校説明を行っています。

そこでは保護者が知りたい情報を得ることができま

す。

ここ三年間で上映したのは、「この世界の片隅に」、

「ナミヤ雑貨店の奇蹟」、

「野球部員、演劇の舞台に立つ」です。毎回、百名近い参加があり、その後の情報交換会では親睦を深めています。

今年度の活動については七月上旬に行われた役員会で協議し、例年どおりの活動の中止を決定しました。その後

の話し合いで各校の子供たちの状況を知ること、呉地区で何かできることはないだろうか、何ができるかを考えさせられました。自粛明けに登校し始めてもマスクをしている顔しか見たことがないクラスメイトと距離を縮められず、馴染めず悩んでいる新入生、学校行事や大会の中止、縮小で努力を発揮する場を失い、

悔しい思いに堪えている子どもたち、想像していた高校生活と異なる毎日を過ごす高校生にエールを届けたい、



少しでも笑顔になってくれたらという思いは全員一致し、話し合いを重ねたうえで応援メッセージを送ることとなりました。

その第一弾は、呉で撮影されたSTU48の曲を背景にメンバーが各校ごとに私たちの思いを込めた言葉でエールを送ってくれる動画を作成しました。この映像は子供たちへのクリスマスプレゼントとして十二月二十四日にネット配信をします。

第二弾は、バスケットB一に昇格した、ドラゴンフライズのチアリーダーのフライガールズが子供たちにエールを届けます。この映像は年明けにネットで配信をします。

第三弾は、応援メッセージの垂れ幕作成です。真っ白な大きな紙に私たちの思いが込められたメッセージを各校の書道部の生徒に書いてもらいました。完成した垂れ幕をバックにフライガールズの応援チアを撮影します。また、配信と同時期にゆめタウン呉の吹き抜けに展示されます。そこには高校生だけでなく、呉市の皆さんや見て下さった全ての人にエールを送りたいという私たちの願いが込められています。以上が、今年度



の呉地区高等学校PTA連合会の活動内容の全貌です。

コロナ禍の日々を過ごす中、子供たちにはできないことを悔やむよりも、今、できることを見つけ、楽しみ、絆を深め、少しずつでも前に進んでいる気がします。

私たちのこの活動もこんな今だからこそできたことです。

たとえ、現状を変えることはできなくても、これを見てくれた子供たちが少しでも励まされ、笑顔になってもらえらることを心から願っています。

最後に、まだまだ厳しい状況は続きますが、子供たちのために皆で頑張ります。Fly High!!

笑顔 咲き誇れ！
輝け！ 呉魂!!

(呉地区連合会長 上藤勝典)

【尾三地区連合会】

尾三地区の活動としては、春の総会と秋の健全育成研修会が行われています。

総会は、毎年各校が集まりやすい三原のホテルで行われています。議事終了後、懇親会では、各校の近況報告や情報交換の場として活用されています。今年度は、新型コロナウイルスのため、中止となりました。近隣のPTA役員と親睦を深める事が出来なかったのは残念

でした。

健全育成研修会は、当番制で行われていて今年度は三原市の総合技術高等学校の担当です。

石井PTA会長にあえてコロナ禍で開催した思いを聞きました。

全国で新型コロナウイルス感染拡大によって様々な行事、大会が中止となり、健全育成研修会についても夏ごろから開催可否かの協議を続けていく中で例年とは違う学校生活に戸惑う生徒さん、保護者の皆様に何か伝えることが出来ないか？その思いが開催を決意させました。

開催に当たりあらゆる対策の準備をお願いしました。

●ソーシャルディスタンスのための人数制限

●受付のシールドパーティション

●マスク着用、消毒のお願い

コロナ禍の人々の心理状況を考える。と吉永様の御講演はもともとその心を癒していただけるとは思いませんでした。

このことで、開催に当たりいろいろと御苦労されたと思いません。



そんな中、十月三十一日(土)三原市にある本郷生涯学習センターにおいて、令和二年度尾三地区高等学校PTA連合会健全育成研修会が開催されました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、短時間の研修会とし、会場の換気を常時行い、参加人数を収容人数の二分の一以内で行われました。

一校当たり三名、総勢四十七名の方々が参加され開催致しました。

開会に当たり、尾三地区高等学校PTA連合会石井克己会長のあいさつに始まり、広島県公立高等学校長協会尾三支部船倉功支部長、広島県高等学校PTA連合会原邦視副会長より御祝辞を頂きました。

開会行事に続き、吉永由紀子氏による講演、演題は「想う心」くALL FOR YOUで育む笑顔の輪」と題し講演して頂きました。



吉永氏は一九九八年ANAに入社。国内線客室乗務員として乗務。フライト業務のみならず部内教育トレーナーとして研修の企画運営を担当し、主に入社一年未満の新人客室乗務員のCS教育の講師を務められた方です。



講演は、客室乗務員の必要要件から見る「人材」とは、家庭・学校・地域で育む「想う心」、みんなを笑顔にするために、「想う心」が生んだ空の上の感動、についてのお話をいただきました。

講演後のアンケートの感想

- 想う心、笑顔の大切さなど、素晴らしい話を聞かせていただきました。涙が出ることもありましたが、素晴らしいフライトでした。ありがとうございました。
- いい時間を過ごせました。家に帰って、想う心を子供に声掛けしてあげようと思います。

● 親としての覚悟を改めて考えさせて頂きました。

● とても良いお話でした。FormeではなくFor youの心をもって活動できればよいかと思えます。

● 終始笑顔で話される姿、言葉遣い等感動させて頂きました。

● 相手を想う心を持った仕事、家庭での家族への対応をしていきたいと思えました。

● もっと早い時期にこの講演をきいておきたかった。偏差値ではない。笑顔、接遇者、挨拶

● 四人目の子供が高三で、PTA生活も最後の一年となった今でも、色々気づかされることがあります。とりあえず一言添えた挨拶から頑張ろうと思います。

● とてもわかりやすく感動し、心が揺さぶられました。わが校にもお話しにきて頂きたいです。子供の話を聞くとき、自己保身の子が多く、子供自身傷ついて苦しんでいます。先生の話で子供たちが少しでも感じてくれたらと思う。

● 等の感想を頂きました。中には、講演を聞くのが二回目という方もいて、同じところで泣いてしまうとのことでした。

● まるで今はやりの、アニメ映画みたいですね。いつもは、情報交換会を開催し、親

睦を深めているのですが、今年はコロナ禍のため開催しないので、講演の内容がより心に残りました。

● 次回は、尾道北高校の担当です。強いお招きの言葉と閉会の御挨拶があり無事に健全育成研修会が終了しました。

● 今大会、担当されました、総合技術高等学校PTAの皆様をはじめ、開催に御尽力いただいたすべての皆様に感謝を申し上げます。

(調査広報委員 堀本満弘)

「全県一斉あいさつ運動」ポスター及び「通学・交通マナー」標語入賞作品の御紹介

広島県高等学校PTA連合会では五

つの委員会を設置し、事業を行って

います。そのうちのひとつ、健全育成委員

会では平成二十三年度より「全県一

斉あいさつ運動」の活動をしています。

● 昨年、大人同士でも挨拶が少なくな

ったと感じており、改めて子供たちも

含めて挨拶の良さについて考える「き

っかけ」にして頂きたいとの思いでし

た。今年度は十一月二日に「全県一斉あ

いさつ運動」を実施し、県内各校、ま

た地域の団体と一緒に活動しま

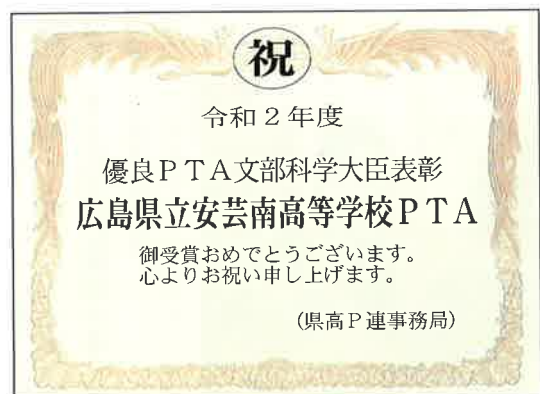
した。当日は雨の降る寒い日でしたが、

● 各校「あいさつ運動」のぼり旗を掲

げ、早朝より活動いただきました。各

校PTA会員の皆様、御協力いただき

ありがとうございます。



また「あいさつ運動」ポスターと「通学・交通マナー」に関する標語募集を行い、多くの生徒さんから応募いただきました。ありがとうございました。

健全育成委員会で厳正なる審査会を実施し、各賞を選ばせて頂きました。

最優秀の生徒さんの作品はポスターとして各校へ配布し、掲示していただき受賞された生徒の皆さんは次のお楽しみです。

あいさつ運動ポスター

〔最優秀賞〕

広島県立尾道東高等学校

一年 博田 開



〔佳作〕

広島県立広島国泰寺高等学校

二年 秋山 翼

広島県立広島国泰寺高等学校

二年 平原 朋樹

広島県立熊野高等学校

二年 片岡 稔里

〔会長特別賞〕

広島県立呉特別支援学校

江能分級

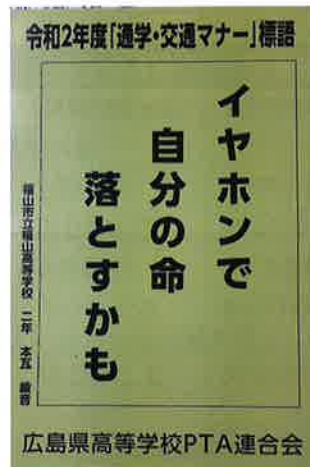
高二年 寛本 奏音

通学・交通マナー標語

〔最優秀賞〕

福山市立福山高等学校

二年 本瓦 綾音



〔優秀賞〕

広島県立忠海高等学校

三年 坂本 莉菜

〔広島地区連合会賞〕

広島県立広島観音高等学校

一年 早弓 綾音

〔広島東地区連合会賞〕

広島県立黒瀬高等学校

三年 寺内 寧々

〔広島西地区連合会賞〕

広島県立五日市高等学校

二年 東 祐里子

〔広島北地区連合会賞〕

広島県安古市高等学校

二年 田中 優衣

〔呉地区連合会賞〕

広島県立音戸高等学校

一年 大谷 紅羽

〔尾三地区連合会賞〕

広島県立忠海高等学校

二年 岡田 健心

〔福山地区連合会賞〕

福山市立福山高等学校

二年 豊田 楓汰

〔三次地区連合会賞〕

広島県立吉田高等学校

三年 堀田 愛生

「全県一斉あいさつ運動」は今年活動十年の節目の年を迎えました。

そんな年に新型コロナウイルス感染症拡大で、新しい生活様式が始まり、会話も少なくなっていました。

感染対策を講じながら生徒と挨拶を交わし、子供たちの元気な声、マスクからのぞく笑顔の眼を見ながら、改めて挨拶の大切さを認識しました。

この難局時に工夫を凝らし活動できたことに対し、各校PTA会員の皆様に感謝申し上げます。

(健全育成委員長 藤原 みどり)

令和3年 県高P連行事予定

- 3月中旬 令和2年度第2回常任委員会 (広島YMCA 本館会議室)
- 6月8日(火) 令和3年度県高P連定例総会 (広島県民文化センター)
- 6月下旬 令和3年度第1回常任委員会 (広島YMCA 本館会議室)
- 7月16日(金) 第63回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会徳島大会(徳島市 アスティ徳島)
- 8月1日(日) 令和3年度第1回単P会長研修会 (広島YMCA 国際文化ホールほか)
- 8月7日(土) 広島県高等学校PTA連合会進学説明会 (広島県民文化センター)
- 8月24日(火) 第70回全国高等学校PTA連合会大会島根大会 (松江市 くにびきメッセほか)

※延期となっていました第70回全国高等学校PTA連合会大会島根大会は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策等のため、参加費が1名7,300円になります。(従来は6,700円)

- 10月31日(日) 広島県大会(福山地区) (リーデンローズ福山)
- 11月1日(月) 全県一斉あいさつ運動

※各大会、研修会等の開催については、新型コロナウイルス感染拡大防止のために、やむを得ず中止となる場合があります。御了承ください。

広島県高等学校PTA連合会

高校生総合保障制度

この制度の特徴

〈高校生総合保障制度は、団体総合生活保険のペットネームです。〉

- 1. 団体割引25%適用・損害率による割引20%適用** (天災危険補償特約保険料には損害率による割引を適用しません。)
- 2. 病気・けが・賠償事故・携行品等を補償**
- 3. 国内外を問わず24時間の傷害・病気等を補償**
 ○携行品(学校管理下動産補償特約)の補償は学校管理下中のみです。
 ○夜間・休日とも24時間事故の受付をしております。
- 4. 「メディカルアシスト」で24時間・365日無料各種医療に関するご相談に応じます。**
 ○また、夜間の救急医療機関や最寄りの医療機関をご案内いたします。
 ※詳細はパンフレットをご確認下さい。
 ※補償期間(保険期間)は1年となります。(令和2年4月25日午後4時より令和3年4月25日午後4時まで1年間)
 ※中途加入は補償期間が異なります。詳しくは取扱代理店までお問合せください。

〈保険金額と掛金(保険料)〉

補償内容		W3タイプ	W2タイプ	W1タイプ	Aタイプ	Bタイプ
個人賠償責任 (記録情報限度額 500万円)	国内	1事故 無制限	1事故 無制限	1事故 1億5,000万円限度	1事故 1億5,000万円限度	1事故 1億円限度
	海外	1億円限度	1億円限度	1億円限度	1億円限度	1億円限度
国内示談交渉サービス付き						
病気入院 (1日あたり)		5,500円	5,000円	4,000円	—	—
傷害	死亡・後遺障害	365万円	324万円	319万円	269万円	234万円
	入院 (1日あたり)	6,000円	5,500円	4,740円	4,000円	3,000円
	手術	上記入院日額の10倍(入院中の手術)、5倍(入院中以外の手術)				
通院 (1日あたり)		3,500円	3,500円	2,500円	2,500円	1,400円
害	地震・噴火・津波	○	—	—	—	—
	熱中症	○	○	○	○	○
	細菌性食中毒	○	○	○	○	○
携行品(学校管理下動産補償)	1年で20万円限度	1年で20万円限度	1年で10万円限度	1年で10万円限度	1年で10万円限度	1年で10万円限度
自己負担額:1事故3,000円						
被害事故補償		1事故3,000万円	1事故2,000万円	1事故1,000万円	1事故1,000万円	—
育英費用		200万円	150万円	100万円	100万円	50万円
地震・噴火・津波		○	—	—	—	—
制度維持費		350円				
掛金(1年分)		17,000円	15,000円	12,000円	10,000円	7,000円

○携行品の損害保険金は1年間でW3、W2タイプは20万円限度。W1、A、Bタイプは10万円が限度となります。
 (注)携行品の損害保険金のお支払額の合計が保険金額(W3、W2タイプは20万円限度：W1、A、Bタイプは10万円)と同額となった場合は、この携行品の補償は損害発生時に終了します。
 ※制度掛金は制度維持費350円を含んでおります。
 ※上記保険料は職種別Aの方を対象としたものです。お子様(被保険者-保険の対象となる方)が継続的にアルバイトに従事している等で、職種別Aに該当しない場合は、保険料が異なりますので、取扱代理店にお問い合わせください。
 ※病気入院(入院医療保険金)について：新規ご加入時の支払責任の開始時より前に被った病気については保険金お支払いの対象となりません。(ただし、新規ご加入時の支払責任の開始する日からその日を含めて1年を経過した後に生じた保険金支払事由については、保険金お支払いの対象となります。)

このご案内は団体総合生活保険の概要についてご紹介したものです。保険の内容はパンフレットをご覧ください。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、取扱代理店までお問い合わせください。

〈お問合せ先〉取扱代理店 ㈱東京海上日動パートナーズ中国四国本店 TEL:0120-018-217 令和2年3月作成 <19-T06914>

〈引受幹事保険会社〉



東京海上日動

(担当支社) 広島支店 広島中央支社
 広島市中区八丁堀3-33 広島ビジネスタワー
 TEL 082-511-9194

パンフレット・重要事項説明書は上記お問合せ先にご請求下さい。

〈共同引受保険会社〉



AIG 損保

AIG損害保険株式会社 広島支店
 広島市中区基町12-6 富士火災広島ビル
 TEL 082-535-6010

この保険契約は、上記の保険会社による共同保険契約であり、東京海上日動火災保険が他の引受保険会社の代理・代行を行います。各引受保険会社は、契約締結時に決定する引受割合に応じて、連帯することなく単独別個に保険契約上の責任を負います。なお、引受割合につきましては、団体窓口にご確認ください。
 <引受保険会社> 東京海上日動火災保険(幹事保険会社) AIG損害保険株式会社